

◎景気ウォッチャー調査[2024年4月]

2024年4月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を5.9ポイント下回る48.9となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「周囲で円安の影響を心配する声をよく聞く。スーパーの食材も値上がりしていて、客が消費を控える傾向にある。」(百貨店)、「新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症に引き下げられ、人々の日常生活が元に戻ってきたが、物価の上昇の影響もあり、厳しい状況が続いている。」(美容室)等の理由から、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を6.6ポイント下回る48.2となった。

企業動向関連は、「やや良くなっている」の回答の割合が減少したため、前月を0.8ポイント下回る48.5となった。

雇用関連は、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「4月から勤務を開始した人が多く、今月は求職者の動きが落ち着いている。」(人材派遣会社)等の理由から、「やや悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を10.8ポイント下回る55.4となった。

	4月	3月	前月差
合計	48.9	54.8	-5.9
家計動向関連	48.2	54.8	-6.6
企業動向関連	48.5	49.3	-0.8
雇用関連(参考値)	55.4	66.2	-10.8

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を5.0ポイント下回る48.0となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「円安傾向と不安定な世界情勢が起因し、旅行需要が大幅に改善したり、良くなったりすることは望めない。」(旅行代理店)、「円安で輸入物価が上がり、商品価格も上昇しているため、客の購買意欲が低下している。今後、政府の電気料金補助が終了するため、景気は悪くなる。」(コンビニ)等の理由から、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を7.5ポイント下回る46.6となった。

企業動向関連は、前月と同ポイントの47.8となった。

雇用関連は、「派遣料金の値上げ交渉が想定よりも順調に進んでおり、4月の稼働分より徐々に利益率の改善が進むと予想する。」(人材派遣会社)、「5月以降も引き続き第二新卒の動きが出てくる。また、夏のボーナス後に転職を考えている潜在層が、今から行動していく。」(民間職業紹介機関)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を3.0ポイント上回る58.9となった。

	4月	3月	前月差
合計	48.0	53.0	-5.0
家計動向関連	46.6	54.1	-7.5
企業動向関連	47.8	47.8	0.0
雇用関連(参考値)	58.9	55.9	3.0